

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2021年9月）

目 次

新型コロナウイルス

◆9月30日現在の感染情報等	2
◆3回目のワクチン接種認可	2
◆5～11歳のワクチン接種認可	2
◆7～8月の新規感染者内訳	2
◆1日あたりの新規感染者が1000人を突破	3
◆アストラゼネカ製ワクチンの2回目接種終了	3

内 政

◆コリーコヴァー法務相等の Za ludi 離党	3
◆「ユダヤ人規定」に対する政府の謝罪	4
◆政党支持率調査結果	4

外 政

◆チャプトヴァー大統領等によるアフガニスタンの女性の権利遵守を要請する 共同文書発出	5
◆米同時多発テロ20周年に関する外務・欧州問題省ステートメント	5
◆ローマ教皇のスロバキア訪問	6

社 会

◆東京パラリンピックでのスロバキア選手のメダル獲得	6
---------------------------	---

経 済

◆Eustream 社のウクライナから西欧への水素輸送計画	7
◆竹中工務店によるブラチスラバの高層マンションの建設	8

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆9月30日現在の感染情報等

- (1) 9月のPCR検査に基づく新規感染者数は1万8601名（8月は2418名）、9月の死者数は101名（8月は8名）。
- (2) 9月30日現在のPCR検査に基づく累積感染者数は41万3723名（前日比+1216名）。9月30日のPCR検査件数は9308件。
- (3) 9月30日現在の累積死者数は1万2649名（前日比+12名）。
- (4) 9月30日現在の1回目のワクチン接種者数は245万2598名（前日比+2042名）。完全接種者数は232万7297名（前日比+2131名）。

◆3回目のワクチン接種認可（9月8日付プラウダ紙電子版）

9月8日、レングヴァルスキー保健相は、「9月13日以降、mRNAワクチン（ファイザー又はモデルナ製）の2回目接種から8か月以上経過した者に対する3回目接種を認可する」と述べた。3回目接種の優先順位は、医療従事者、免疫不全の患者、社会福祉施設の職員及び入居者、教職員、60歳以上の病人、その他全ての者、の順番である。

（当館注：9月30日、保健省の担当者は記者会見の中で、3回目接種を近日中に開始する旨述べた。）

◆5～11歳のワクチン接種認可（9月8日付Dennik N紙電子版）

9月8日、レングヴァルスキー保健相は、「9月9日以降、5～11歳の子どもに対するワクチン接種を認可する」と述べた。5～11歳に対する接種ワクチンはファイザー製である（当館注：従来の接種対象年齢は12歳以上）。5～11歳に対するワクチン接種に関しては、親の申請に基づき、小児科医又は医療専門家の承認が必要である。

（当館注：9月30日、保健省の担当者は記者会見の中で、免疫不全の5～11歳に対するワクチン接種を近日中に開始する旨述べた。）

◆7～8月の新規感染者内訳（9月13日付公衆衛生局プレスリリース）

- (1) 7～8月に確認された新規感染者数は計4162件。
- (2) 1132件（全体の27%）が国外から持ち込まれた（クロアチア214件、スペイン73件、チェコ65件、ギリシャ56件、英国45件等）。
- (3) デルタ変異株の確認件数は1173件で、うち397件が国外から持ち込まれた（クロアチア72件、スペイン57件、英国28件、チェコ23件、ギリシャ16件等）。

(4) 934件(全体の22%)が無症状者。

◆1日あたりの新規感染者が1000人を突破

(1) 9月21日、4月13日以降で最多となる1180人の新規感染者が確認された(PCR検査結果に基づく)。1日あたりの新規感染者が1000人を超えるのは、感染第三波では初めてである。

(2) 9月28日、4月9日以降で最多となる1459人の新規感染者が確認された(PCR検査結果に基づく)。そのうち非ワクチン接種者が74%を占めている。9月28日現在の入院者数は531人で、そのうち85%が非ワクチン接種者である。

◆アストラゼネカ製ワクチンの2回目接種終了(9月28日付保健省プレスリリース)

アストラゼネカ製ワクチンの2回目接種は10月6日で終了となり、スロバキアにおけるアストラゼネカ製ワクチンによる接種はすべて終了する見通し。同ワクチンの新規接種(1回目接種)は5月11日に停止されている。これまでに、41万8111人が同ワクチンの2回目接種を受けた。

内 政

◆コリーコヴァー法務相等のZa ludi離党(9月8~9日付当地各紙)

9月8日、コリーコヴァー法務相(与党第4党「人々のために(Za ludi)」指名)は、与党第3党「自由と連帯(SaS)」のスリーク党首(副首相兼経済相)等と記者会見を行ったところ、概要以下のとおり。

(1) コリーコヴァー法務相及びZa ludiの6名の国会議員が、Za ludiを離党する(当館注:これにより、Za ludi所属国会議員の数は4名のみとなる)。

(2) コリーコヴァー法務相及びZa ludi離党議員は、「公正なスロバキアのために」を結成し、SaSのパートナーとなる。Za ludiを離党する6名の議員は、SaS国会会派に加入する。これにより、SaS国会会派所属議員は計19名となり、SaSは連立政権の中で、与党第2党「我々は家族(Smerodina)」(所属議員数17名)を抜いて2番目に国会議員の数が多き国会会派となる。ただし、コリーコヴァー法務相及び同6名の議員はSaSの党員にはならない。

(3) コリーコヴァー法務相等の「公正なスロバキアのために」は、引き続きヘゲル政権を支持する。

(4) スリークSaS党首は、「連立協定を見直す理由はなく、見直すつもりもない」と述べ、「SaSが求めている唯一の条件は、コリーコヴァー法務相

の留任である」と述べた。

(5) スリーク党首及びコリーコヴァー法務相は、レミショヴァー副首相兼投資・地域発展・IT化相 (Za ľudí党首) の留任を支持することを確認した。

◆「ユダヤ人規定」に対する政府の謝罪 (9月8日付首相府プレスリリース)

9月8日、スロバキア政府は、80年前に制定された「ユダヤ人規定」に対して謝罪する内容のステートメントを採択した。「ユダヤ人規定」は、1941年9月9日にスロバキア (当時はナチス・ドイツの傀儡国家) で制定され、これによりユダヤ人差別が合法化された。同ステートメントの概要は以下のとおり。

(1) スロバキア政府は、当時の国家権力が犯した犯罪、特にユダヤ系市民の基本的な人権及び自由を制限する恥ずべき措置を1941年9月9日に採択したことに対し、公に遺憾の意を表明する倫理的義務を感じている。

(2) 「ユダヤ人規定」は、市民、宗教、社会に関する権利を制限しただけに留まらなかった。同規定はユダヤ人の財産権利上の地位にも関連しており、ユダヤ人財産のアーリア人への移管についても多くの措置が定められていた。

(3) スロバキア政府は、当時の国家権力による行動を非難するとともに、無実の犠牲者を生み出した悲劇に対して深い遺憾の意を表明し、絶滅収容所への移送を含む我々の市民に対する犯罪について反省する。

(4) スロバキア政府は、多元的民主社会のみが人権及び市民権の遵守を保証できると確信している。本ステートメントの採択は、法律を非人道的な目的で二度と悪用しないための自由で民主的なスロバキアの責務である。

(5) ユダヤ人迫害に反対して自らの自由や命を危険に晒した者に対して、敬意を表明する。

◆政党支持率調査結果 (9月13日)

世論調査機関Focusによる政党支持率調査の結果は以下のとおり (括弧内は支持率に基づいた議席数)。Smer-SDがSaSを抜いて支持率調査で2位に浮上した。極右政党LSNSの離党者が結党した「共和国」の支持率が徐々に上昇しつつある。

政党	Focus	2020年選挙
Hlas-SD (声・社会民主主義)	18.5%(33)	—
Smer-SD (方向・社会民主主義)	14.4%(25)	18.29%
SaS (自由と連帯)	11.7%(21)	6.22%
OLaNO (普通の人々・独立した人達)	8.2%(14)	25.02%
PS (プログレッシブ・スロバキア)	7.0%(12)	※6.96%

Republika (共和国)	6.8%(12)	
Sme rodina (我々は家族)	6.7%(12)	8.24%
KDH (キリスト教民主運動)	6.1%(11)	4.65%
Aliancia (同盟)	5.5%(10)	—
LSNS (我々のスロバキア)	4.6% (-)	7.97%
SNS (スロバキア国民党)	3.6% (-)	3.16%
Za ludi (人々のために)	2.2% (-)	5.77%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

外 政

◆チャプトヴァー大統領等によるアフガニスタンの女性の権利遵守を要請する共同文書発出（9月3日付大統領府プレスリリース）

9月3日、チャプトヴァー大統領は、ヤコブスドッティル・アイスランド首相とのイニシアチブにより、アフガニスタンにおける暴力防止及び女性の権利遵守を要請する世界各国の女性の首脳による共同文書を発出した。同共同文書には、アーダーンNZ首相、マリン・フィンランド首相、フレデリクセン・デンマーク首相、ソルベルグ・ノルウェー首相、シモニーテ・リトアニア首相、カッラス・エストニア首相、サケラロプル・ギリシャ大統領、サンドウ・モルドバ大統領、ズラビシュヴィリ・ジョージア大統領も参加した。同共同文書の概要は以下のとおり。

（1）我々は、アフガニスタンの多くの場所で女性及び少女の権利が侵害されているとのニュースを聞いており、同国情勢を深く懸念している。

（2）現在及び将来アフガニスタンの権力を握る者に対し、女性及び少女の権利を尊重し、雇用、教育、医療、文化、公務等の分野における彼女達の権利を制限する行動を慎むよう要請する。アフガニスタン当局に対し、女性及び少女に対するあらゆる暴力を防止するよう強く要請する。

（3）男性と女性は平等であり、女性の権利は奪うことや疑うことができないものである。

◆米同時多発テロ20周年に関する外務・欧州問題省ステートメント（9月11日付外務・欧州問題省プレスリリース）

本日（11日）は、2001年9月11日に米国で発生したテロ事件の悲しき記念日である。この機会に、外務・欧州問題省は世界中のテロに対抗するため、同盟国やパートナーと連帯する意思があることを改めて表明する。

米国史上最悪のテロ事件により、90か国以上の国籍の2977名の犠牲者

が出たことは、20年たった今でも忘れることはできない。9. 11で起きた事件は、米国に限らず国際的な悲劇であり、その結果は現在に至るまで我々が直面している。米国内で起きた恥ずべきテロ行為から20年が経ち、世界は変わった。しかし、不変なのは、スロバキアが強固なメンバーである民主主義国のコミュニティが基盤としている諸価値を守り促進する我々の決意である。

◆ローマ教皇のスロバキア訪問（9月13～15日付当地各紙）

教皇フランシスは、昨年12月のスロバキアのチャプトヴァー大統領の招待に基づき、9月12日～15日の日程でスロバキアを訪問した。ローマ教皇のスロバキア訪問は通算4回目で、前は2003年9月のヨハネ・パウロ2世の訪問であった。

9月12日、ローマ教皇は、ブラチスラバの駐スロバキア・バチカン大使館において、スロバキアのキリスト教のすべての宗派の代表者（当館注：スロバキアで登録されたすべてのキリスト教教会の代表者）に対して演説を行った。教皇は、「スロバキアの人々が典型的に有する穏やかで温かくもてなす性質、伝統的な平和的共存及び国の福利に対する協力は、希有で貴重なものである」と述べた。

9月13日、大統領宮殿の庭園において、教皇の公式歓迎式典が開催され、チャプトヴァー大統領、ヘゲル首相、市民団体及び当地外交団の代表者が出席した。同日、教皇は、ユダヤ人コミュニティとの対話も行った

9月14日、教皇はスロバキア東部のプレショウとコシツェを訪問した。プレショウでは、ギリシャ・カトリックのミサを行い、その後、コシツェに移動して、スロバキアでも最も貧しい地区の1つであるルニーク9区のスロバキア最大のロマ人コミュニティとの対話に出席した。この対話には約2000人のロマ人が出席した他、近隣の建物の窓から約1000人のロマ人が対話集会を見守った。教皇は、「ロマ人に対する偏見はなくさなければならない。人々をゲッターに押し込めることは何の解決にもならない」と述べた。教皇は、コシツェのスタジアムに集まった若者2万人以上との集会にも参加した。

9月15日、教皇は、5万人以上が参加したシャシュティーン（トルナバ県）での屋外ミサに出席した。9月15日はスロバキアの守護聖人である「七つの悲しみの聖母マリア」の祝日であり、教皇の屋外ミサにおける法話の主題は、人々との連帯の表明としての思いやりであった。

社 会

◆東京パラリンピックでのスロバキア選手のメダル獲得

8月24日～9月5日に行われた東京パラリンピックにおいて、スロバキア

の選手団は11個のメダル（金メダル5個、銀メダル2個、銅メダル4個）を獲得した。金メダルを獲得した選手は以下のとおり。

- （1）メテルカ（Jozef Metelka）選手：自転車トラック競技（男子パシュートC4）
- （2）クリル（Patrik Kuril）選手：自転車ロード競技（男子タイムトライアルC4）
- （3）ヴァドヴィチヨヴァー（Veronika Vadovicova）選手：射撃（混合50mライフル伏射SH1）
- （4）アンドレイチーク（Samuel Andrejcik）選手：ボッチャ（混合個人BC4）
- （5）アンドレイチーク（Samuel Andrejcik）選手、バルツォヴァー（Michaela Balcova）選手、ストレハールスキ（Martin Streharsky）選手：ボッチャ（混合ペアBC4）

経 済

◆Eustream社のウクライナから西欧への水素輸送計画

【8月31日付TASR通信】

スロバキアのガス輸送事業者であるEustream社は、早ければ2023年末に、天然ガスに5%以下の水素を混合して輸送することを計画している。現在のガス輸送量を踏まえると、スロバキアは年間20億立方メートル以上の水素を輸送することが理論上は可能である。同社のニューコヴィチ社長は、「我々の目標は、低炭素社会の条件を準備し、EUの気候目標を支援することである」と述べた。

水素とガスの混合輸送は、水素輸送を促進するための代表的な手法である。また、既存のガス施設を活用することで、再生可能エネルギーを備蓄することができる。Eustream社は今後2年以内に、水素輸送を可能にするための新たな設備の導入を検討している。

【9月9日付SITA通信】

Eustream社は、グリーン水素の生産及び供給に関する国際的なパートナーシップ「H2EU+Sotre」に加盟した。H2EU+Sotreは、ウクライナにおける再生可能電力エネルギー及び水素生産のために必要なキャパシティーを形成することになる。ウクライナで太陽光や風力により生産される水素が、将来的にEustream社のインフラを通過してオーストリアやドイツに輸送される予定である。

【9月24日付経済新聞】

スロバキアのEustream社、チェコのNet4Gas社、ドイツのOGE社及びウクライナのガス輸送企業は、ウクライナで生産される水素のEU諸国への輸送のため

の「中欧水素回廊」を創設することを検討している。各社は、既存のガス輸送インフラを活用しつつ、新たな水素パイプライン及び圧縮施設への投資も検討している。各社は、「中欧水素回廊」の技術的実現性に関する調査を既に開始している。Net4Gas社のラウ氏は、2022年に同調査の最初の結果が出るとの見解を示している。

◆竹中工務店によるブラチスラバの高層マンションの建設（9月22日付経済新聞）

400年の歴史を持つ日本の竹中工務店は、ブラチスラバの高層マンション「Metropolis」を建設している。同マンションの建設準備は5月に始まり、2024年第1四半期に完成予定で、一室あたりの最低販売価格は18万ユーロ以上に設定されている（35平方メートルの部屋の場合）。1平方メートルあたりの最低販売価格は5200ユーロで、ブラチスラバの平均価格の約2倍である。Metropolisには1343平方メートルの商業スペースも設けられる。

竹中工務店は、1999年にスロバキアに進出し、起亜自動車（KIA）ジリナ工場、ジャガー・ランド・ローバー（JRL）ニトラ工場、フォックスコン・ニトラ工場、アマゾン・ブラチスラバ・オフィス等の工場やビジネス施設を建設してきた。竹中工務店スロバキア支店のウルバーレク・ジェネラル・マネージャーは、「約3年前に、欧州における住居建設部門にも進出することが決定された」と述べた。Metropolisは、スロバキアで竹中工務店が建設する3棟目のマンションである。

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

